



2020年5月26日

各位

会社名 那須電機鉄工株式会社
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 智晴
 (コード 5922、東証第二部)
 問合せ先 専務取締役 西岡 雅之
 (Tel. 03-3351-6131)

中期経営計画の進捗状況について

当社グループは、2019年5月28日に、2019年度から2021年度までの中期経営計画を開示いたしました。つきましては、計画初年度の進捗状況を下記の通りご報告いたします。

また、2020年度は中期経営計画の2年目にあたりますが、米中貿易摩擦や原油価格の変動など国際情勢に不透明感があり国内経済への懸念事項が多い最中に、新型コロナウイルスによる影響で国内外の経済が危機に直面するような状況ですが、当社グループは引き続き当初より計画している経営戦略を推進してまいります。

記

1. 2019年度の実績について

(1)中期経営計画目標の進捗

2019年度指標別実績対比

単位：百万円

	売上高（連結）	営業利益	営業利益率	当期純利益	ROE
当初計画	20,700	580	2.8%	4,300	23.6%
実績	21,681	2,013	9.3%	5,282	27.0%
差異	981	1,433	5.5%	982	3.4%

売上高については、通信関連で鉄塔の延命化工事とアンテナ支持金物の生産が年間を通じて継続出来たことにより計画を達成致しました。利益面では、通信関連と建築・道路関連共に複数年におよぶ大型施工件名が完工し利益に貢献致しました。

その結果、2020年3月期の連結業績につきましては、売上高216億81百万円、営業利益20億13百万円となりました。また、親会社に帰属する当期純利益は、当社旧砂町工場土地の売却益等の計上もあり52億82百万円となりました。

<ご参考>

単位：百万円

	2020年 3月期			2021年 3月期		2022年 3月期
	当初計画	実績	達成率	当初計画	当期予想	当初計画
売上高（連結）	20,700	21,681	104.7%	21,900	21,000	21,600
営業利益	580	2,013	347.1%	1,080	1,150	1,080
営業利益率	2.8%	9.3%	332.1%	5.0%	5.5%	5.0%
親会社に帰属する当期純利益	4,300	5,282	122.8%	750	700	700
ROE	23.6%	27.0%	114.4%	4.0%	3.5%	4.0%

(2)投資の状況

当社グループの設備投資額は4億54百万円となりました。2019年度にはERPシステム（統合基幹業務システム）が本稼働となり業務の効率化を図りました。

また、2020年2月に東北電力株式会社の関連会社であった会津碍子株式会社の株式譲渡契約を締結し、当社グループに迎えて継続的に碍子の安定供給を図ってまいります。

2. 今後の基本戦略について

(1)既存市場における付加価値化・差別化

注力製品に於いてターゲットプライスの設定により競争に打ち勝つコストを実現して参ります。また、表面処理技術（高耐食めっき・タフZ10、低光沢処理）による販路拡大に努めてまいります。

(2)品質・コスト競争力の強化

引き続き生産体制の最適化を経営重点方針に掲げ、重点設備投資による収益源の創造とスマートファクトリーの構築による生産効率化に取り組んでまいります。

その一環として中期設備計画において、八千代工場はめっき工場棟の新築、会津地区では碍子製造設備の増設・更新を計画しました。

(3)既存製品・技術を活用した新市場進出

リニア新幹線、大阪万博、そして海外鉄道プロジェクトの受注を促進してまいります。

(4)新規事業開発

水素関連事業につきましては、2019年度をもって3ヶ年に亘る環境省委託事業（効果的なCO2削減を目指した水素吸蔵合金による再生可能エネルギーの貯蔵システム）を完遂し高い評価を頂きました。当社にとりましてSDGsの達成に貢献する取り組みとしても重要であり、2020年度より市場投入を目指してまいります。

(5)IT戦略

工場内の人や設備の情報をIoTを用いて収集・分析、AIやロボットを活用した次世代のモノづくりを推進することで生産性の向上や新たな収益源を創出するデジタルトランスフォーメーション（DX）を目指します。

以上